



山形県中学校長会運営にあたって

山形県中学校長会

会長 細 谷 直 樹（山形市立第一中学校）

はじめに

第1回理事会におきまして、今年度の会長としてご指名いただきました。県中学校教育の充実と発展のために、誠心誠意努めて参りますので、会員の皆様からのご指導とご協力をお願い申し上げます。

今年度の運営にあたって

今年度、県中学校長会の運営にあたっては、全日本中学校長会新教育ビジョン「学校からの教育改革」（令和2年5月策定）や研究主題「豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手を育てる中学校教育」を踏まえ、さらに県中学校長会「活動方針」に基づき、特に「学校経営」と「中学校教育の課題」という2つの側面から重点的に取り組んで参ります。

1 校長の経営力の向上

(1) 確かな学力の育成

- ① ICT機器を活用した効果的な学習の在り方「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な推進

- ② 探究的な学習の推進

(2) 働き方改革(教職員のライフワークバランス)

- ① 教職員がいきいきと働くことのできる環境づくりのためのマネジメント

- ② 授業づくりをはじめ、教員が本来の業務に専念するための時間の確保

- ③ 学校運営協議会や地域学校協働活動等との連携強化

※半期における時間外在校等時間の月平均80時間超の教員を0に

(3) 人材育成

- ① 次世代をけん引するミドルリーダーの育成

- ② 若手教職員の指導力向上

(4) 他機関等との連携強化

- ① 教員以外の人材の効果的な活用

- ② 学校だけが抱え込まない連携の在り方の構築

- ③ スクールロイヤーの効果的な活用

(5) 信頼される学校の構築

- ① 教職員の綱紀保持及び不祥事の防止

2 中学校教育の課題への対応

(1) 部活動改革

- ① 地域クラブ等への移行に向けた実践研究と情報交換

- ② 部活動改革の様々な諸課題についての関係機関等との情報交換及び意見の具申

(2) 生徒指導上の諸課題への対応

- ① いじめや不登校生徒への対応や関係機関との連携、情報交換

- ② 現在の生徒指導上の諸課題の把握とその共有

- ③ 連合小学校長会及びPTA等との情報交換の充実並びに連携の強化

(3) 新たな高校入試制度に係る課題の把握と意見の具申

東北地区中学校長会研究協議会山形大会

今年7月に東北地区中学校長会研究協議会が山形市で開催されます。昨年度、岩手県で全国大会が開催されてこともあり、若干ローテーションが変更になっていますが、7年ぶりの山形大会となります。現職の校長で運営を経験したものはほとんどいない中ですが、村山地区の先生方を中心に、昨年度から大会運営委員会を立ち上げ準備して参りました。会員の皆様からのご協力をいただき、盛会になりますようお願い申し上げます。

おわりに

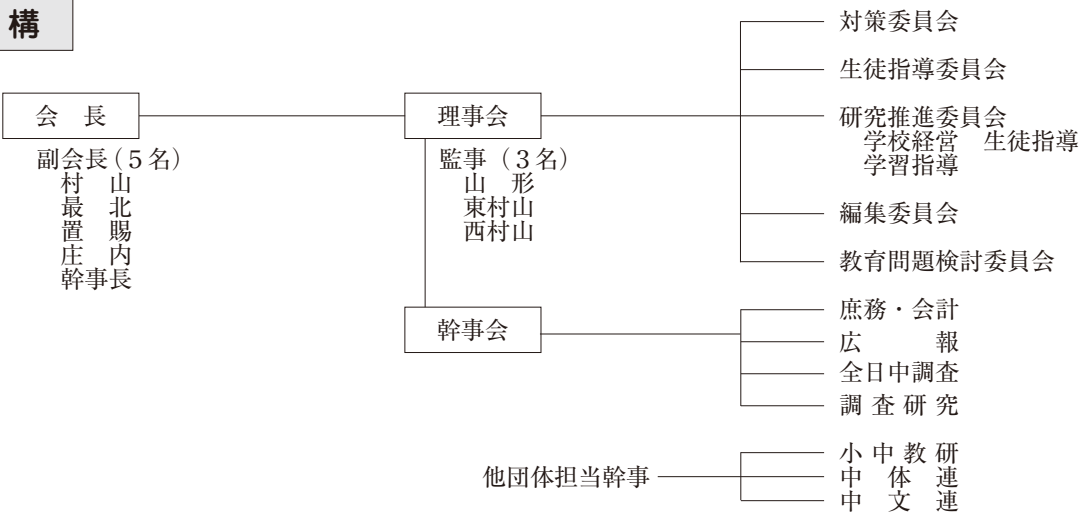
学校を取り巻く社会の変化の激しさは年々著しくなっており、教育のデジタル化の加速度的進展や生成AIの登場、国際情勢の不安定化等、まさに予測困難な時代となっております。そんな中でも、考え得る未来を予測し、判断していくことも、我々校長に課せられた責務であります。

会員皆で協力しながら、今後の中学校教育について、一緒に考えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度山形県中学校長会組織機構図

令和7年度役員	会 長	細谷 直樹 (山 形)	会計監事	佐藤 朋子 (山 形)	秋葉 由紀 (東村山)
	副会長	阿部 仁志 (村 山)	加藤 淳一 (最 北)	橘 正敏 (西村山)	
		今崎 浩規 (置 賜)	土井 浩貴 (庄 内)	幹事長	加藤ゆかり (山 形)
		加藤ゆかり (幹事長)		幹 事	前田 洋光 栗田 和真
	理 事	丹羽 英樹 (山 形)	石原 敏行 (上 山)		沢口 肇 長沼 政直
		笹原美百紀 (東村山)	阿部 仁志 (西村山)		武田 裕子 加藤 咲子
		加藤 淳一 (北村山)	近内 孝哉 (最 上)	事務局	伊藤 陽子
		今崎 浩規 (米 沢)	大友 信昭 (東置賜)		
		田畑 広志 (西置賜)	土井 浩貴 (田 川)		
		佐藤 英喜 (飽 海)			

組 織 機 構



職務・役割分担等

		職 務 内 容	構 成	担当幹事
理 事 会	理 事 会	重要事項の審議 会務の執行	各地区会長 11名 会長・幹事 8名	加藤ゆ幹事長
	会 計 監 査	諸会計の監査	山形、東村山、 西村山から各1名	前田幹事
	生 徒 指 導 委 員 会	生徒指導に関する情報交換、検討、提言 小中生徒指導委員会の委員	委員長(県中副会長) 各地区1名	沢口幹事
	研 究 推 進 委 員 会	研究計画の作成、担当地区との連絡・調整 大会要項編集、県中研究協議会分科会の運営	委員長(県中副会長) 各地区1名	長沼幹事
	編 集 委 員 会	生徒の学習に資する資料の編集 (中学生生活と進路の編集)	各地区1名	加藤咲幹事
	対 策 委 員 会	教育行財政に関する問題の検討と対策 小中対策委員会の委員	各地区1名	武田幹事 前田幹事
	教育問題検討 特 別 委 員 会	教育問題一般についての検討 緊急問題についての検討	各地区1名(理事) 会長・幹事 7名	加藤ゆ幹事長
幹 事 会	庶 務 ・ 幹 事	庶務、会計担当		前田幹事
	広 報	校長会誌編集 県中広報誌担当 全中機関紙編集協力員		加藤咲幹事
	全 日 中 調 査	中学校教育に関する調査 人事院勧告概要調査 文教関係立法・予算措置等要望調査		武田幹事
	調 査 研 究	教育課程編成・実施に関する調査		長沼幹事

令和7年度 活動方針・事業計画

【基本的な考え方】

現在我が国は、急激な社会の変化や新型コロナウイルス感染症の影響などにより、デジタル化社会への急激な進展など日々の生活基盤が大きく変容し、物質的な豊かさの一方で人間関係の希薄化や雇用の不安定化など日常生活において心の豊かさを実感できにくい状況がある。また、国際情勢の不安定化や地球規模の気候変動による影響など先の予測が困難な時代の中にある。

教育界においては、いじめの重大事態の発生や不登校児童生徒数の増加などが引き続き重要な課題となっている。また、学力の向上はもとより、家庭や地域社会との連携の強化、生徒の学習や生活の基盤づくり、道德教育及び特別支援教育の一層の充実、すべての活動の源である健やかな心身の育成が中学校教育に求められる。

本県においては、本年度「第7次山形県教育振興計画」が新たに策定され、その趣旨にそった学校運営が求められている。なかでも、授業力の向上並びに教育山形「さんさん」プランについては、成果と課題の検証を確実に進める必要がある。

こうした中で県中学校長会は、創立以来78年の積み重ねを基に、教育における不易を大切にするとともに、新たな時代に対応した山形らしい確かな教育のあり方を求めて実践と改革を進め、着実に成果を上げてきた。私たちは、これからも新たな教育課題に対して果敢に挑戦し、校長相互の資質向上を図り、学校経営のさらなる充実と学校からの教育改革を進め、信頼される教育現場をつくらなければならない。

私たちの目指す教育は、自分の地域を大切にしながら、志高く国際的な視野をもってたくましく未来社会を創り出していく生徒の育成である。この使命と義務を果たすべく、めざす生徒像として、

- ・自他の「いのち」を尊重する生徒
- ・主体的に学び、確かな力を身につけて自己を確立する生徒
- ・他とかかわりをもって共生できる心豊かな生徒
- ・社会への幅広い関心をもち、創造力に富んだ生徒

を掲げ、全日中の研究主題である「豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手を育てる中学校教育」及びそれを柱とした全日中新教育ビジョン「学校からの教育改革」を踏まえ、次の運営方針と活動の重点のもとに活動するものである。

1 運営方針

- (1) 校長の経営力の向上を図るとともに、中学校教育の課題を究明し、十分な意見交換のもと解決に努める。
- (2) 組織・運営等のあり方を継続的に見直し、活動の活性化と効率化を図り、目的達成に努める。
- (3) 小学校・高等学校・特別支援学校及び関係諸機関との連携を密にし、情報交換に努めるとともに必要に応じて積極的な発信を行う。

それぞれの学校の実態に合わせて、東日本大震災及び甚大な自然災害の復興に関わる支援を継続するとともに、Society 5.0の社会を見据えた新たな教育活動の在り方を模索する。

2 活動の重点

「いのちの教育」を基底に据え、社会を生きぬく力の一層の育成を図るという視点から、次の5項目を活動の重点とする。

- (1) 地域や家庭から信頼される特色ある学校づくりに努める。
 - ア 自主・自律の精神に基づいた創意ある学校の経営
 - イ 家庭・地域と一体となった開かれた学校づくりの推進
 - ウ 生徒の安心・安全を確保できる学校づくりの推進
- (2) 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成・実

施に努める。

ア 社会に開かれた特色ある教育課程の編成・実施
イ 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得並びにそれらを活用する能力及び主体的・協働的に学習する態度を育てる指導・評価の工夫・改善

ウ 組織的・計画的なカリキュラムマネジメントへの取組

エ 豊かな心と健やかな身体を育てる道德教育・健康教育の充実

○特別の教科道德と各教科等の関連を図る全体計画の作成・活用

○他と協調して生きる社会性、規範意識を育む教育の充実

○心身の健康及び個性・感性を育てるバランスの取れた文化・スポーツ活動の推進

○ガイドラインに則した部活動の推進

- (3) 教育公務員としての意識の高揚と教育力の向上を図るとともに研究活動の充実に努める。

ア 使命感、倫理観、指導力を高める研修の推進

イ 生徒・保護者・地域に信頼される、教職員の綱紀保持・服務規律の徹底、体罰・暴言の絶無及び不祥事の防止

ウ 中学校教育の改善に資する調査研究の充実

エ 共通課題の継続研究と地域課題についての実践的な研究の推進

- (4) 教育諸条件の整備及び教職員の処遇改善のための対策活動に努める。

ア 教職員定数改善及び教育山形「さんさん」プランの一層の充実と成果の検証

イ 教職員の資質向上を図るための施策の充実

ウ 人材確保に関する特別措置法の趣旨を生かした教職員の処遇の維持向上

エ 学校配当旅費の確保及び教材費の増額

オ 学校施設及び設備の整備・充実

カ 文化・スポーツ活動及び諸活動のための経費の増額

キ へき地・小規模校教育の振興充実

ク 特別支援教育の振興充実

ケ 自主・自律を進める学校づくりのための学校裁量予算の措置及び増額

- (5) 学校における働き方改革を推進する。

ア 業務改善に向けた継続的な取組

イ 管理職のマネジメント力の向上

ウ 地域と連携した部活動改革

事業計画

各委員会等の分掌業務と併せて、本年度は次のような事業を計画・推進する。

- 1 第75回東北地区中学校長会山形大会兼第79回山形県中学校長会研究協議会の成功を期して、会員総力を挙げて取り組む。
- 2 当面する教育課題の解決に向けて、会員の意見を集約し、積極的に発信する。
- 3 生徒指導上の複雑化する課題や問題行動の情報の共有及び、他機関との連携強化を図る。また、生徒指導の充実と迅速な対応を図るため、「生徒指導四者連絡協議会」を県中学校長会及び各地区校長会で開催する。
- 4 教職員の資質向上について一層の実践を推進するとともに、教職員評価や学校における働き方改革についてもその諸課題について広く議論を進める。
- 5 中学校教育及び中学校長会の組織等に関する課題や緊急性の高い問題について検討するため、必要に応じて「教育問題検討特別委員会」を開催し、問題の究明と解決策を探る。

今年度の各委員会活動方針や事業計画の概要をお知らせします。

〈研究推進〉

- 全日中の研究テーマ「豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手を育てる中学校教育」に基づいて、「学校経営」「生徒指導」「学習指導」の3つの分科会で研究を推進していく。

令和7年度の担当地区は

学校経営……Eブロック（田川地区） 生徒指導……Aブロック（米沢地区）

学習指導……Bブロック（西村山地区）

- 令和7年度は第79回県中学校長会研究協議会は行わない。やまぎん県民ホールで7月3日、4日に開催する東北地区中学校長会研究協議会山形大会をもって、これに充てる。
- 6月中、令和7年度教育課程編成に関する調査を開始する。
- 第2回研究推進委員会（10月28日）において、教育課程編成に関する調査について検討する。
- 会誌第56号に、東北地区中学校長会研究協議会と調査のまとめを掲載する。
- 会誌第55号の「研究・実践のあゆみ」を読み、得られた感想意見等を地区毎に取りまとめ、情報を共有する。
- 会誌第56号の「研究・実践の歩み」は「学校経営」を東村山地区、「生徒指導」を北村山地区、「学習指導」を飽海地区が担当し、各担当地区が令和8年度第80回県中学校長会研究協議会の発表地区となる。

〈編集〉

- 「中学生活と進路」の母体となる全国版を基に、県版の資料や情報の検討、修正等を行う。
- 全体会及び小委員会を開催し、キャリア教育や進路指導の在り方について検討し、編集内容に反映させる。

〈生徒指導〉

- 7月9日に県警察本部、県中央児童相談所、県教育局義務教育課との生徒指導四者連絡協議会を開催する。平成28年度から焦点化したテーマを定めて生徒指導委員会委員が参加し、運営している。
- 8月5日に、「SNSに関わる問題の実態と取組み」「いじめの防止とその対応等」について協議・報告、及び情報交換を行う。
- 1月27日に、「不登校生徒の実態と取組み（別室登校生への対応も含む）」について協議・報告、及び情報交換を行う。

〈対策（小中共通）〉

- 県連小、県中の活動方針に基づき、全連小・全中、東北連小・東北中との連携を密にし、国の動向や学習指導要領、第7次山形県教育振興計画等の趣旨を踏まえ、教科指導や学級経営及び生徒指導並びに特別支援教育の充実やへき地・小規模校教育の充実を図るため、教育諸条件の整備推進に向けた対策活動を展開する。特に、令和の日本型教育の構築に係る「GIGAスクール構想」等、国の教育改革の推移を見守り、本県としての課題を明確にするとともに、山形県公立学校における働き方改革プラン（第Ⅱ期）の内容を踏まえながら、具体的な対策を立て、組織的・継続的な活動を推進する。さらには、大規模災害等を想定した安心・安全な施設・設備の一層の充実を図るための活動とともに、東日本大震災に関わる継続的な支援を引き続き推進する。

第75回東北地区中学校長会研究協議会 山形大会

今年度の東北地区中学校長会研究協議会は、7月3日（木）～4日（金）に、山形県で開催となります。